



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス
 コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 網嶋 耕二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 難波 篤

TEL 086-246-0309

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	53,260	1.8	4,122	13.1	4,218	12.5	2,253	6.5
2019年3月期第3四半期	52,309	1.5	4,745	2.1	4,823	2.1	2,410	8.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,256百万円 (5.7%) 2019年3月期第3四半期 2,394百万円 (9.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	105.79	
2019年3月期第3四半期	108.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	59,136	47,644	80.6
2019年3月期	59,034	46,708	79.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 47,644百万円 2019年3月期 46,708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		31.00		31.00	62.00
2020年3月期		31.00			
2020年3月期(予想)				31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,872	2.6	6,069	5.3	6,300	4.1	2,942	1.1	138.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
(注)当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	22,777,370 株	2019年3月期	22,777,370 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,474,211 株	2019年3月期	1,474,127 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	21,303,198 株	2019年3月期3Q	22,213,317 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報 「参考資料」	10
(1) 仕入実績	10
(2) 販売実績	10
(3) 種類別販売実績	10
4. その他	10
(1) 代表取締役の異動	10
(2) その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や設備投資に弱さがみられるものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いております。一方で、海外経済の不確実性や世界的な貿易摩擦の影響などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、原材料価格や物流費の高騰、人手不足を背景とした人件費の上昇圧力などが一層高まる傾向にあります。また、消費税率引き上げによる実質所得の低下など、消費マインドの悪化が懸念され、経営環境は引き続き厳しいものとなっております。

このような中、当社グループにおきましては、人員体制の整備と適正化を推進することで、サービス面と衛生面の向上を図り、既存店の営業力強化に努めてまいりました。また、中長期的な観点で持続可能な成長基盤を確保するため、立地を厳選した出店を継続し、新業態及び派生業態の開発・実験に取り組んでまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第3四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営店2店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営店10店舗、すし処函館市場直営店1店舗、神戸元町ドリア直営店1店舗、サンマルクカフェ直営店6店舗、倉式珈琲店直営店10店舗、実験中の奥出雲玄米食堂井上直営店1店舗をそれぞれ出店（当第3四半期連結累計期間出店数：直営店31店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第3四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店906店舗、フランチャイズ店32店舗、合計938店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高532億60百万円（前年同期比1.8%増）、経常利益42億18百万円（同12.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益22億53百万円（同6.5%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は290億22百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は28億53百万円（同10.0%減）となりました。

喫茶事業売上高は239億39百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は23億7百万円（同14.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は591億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億2百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は197億51百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億14百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が4億29百万円、売掛金が2億20百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は393億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億12百万円の減少となりました。これは主に減価償却等により建物及び構築物が2億59百万円減少したこと及び非連結子会社への貸付金等に対する貸倒引当金が4億17百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は75億23百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億45百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等が6億9百万円、未払金が4億74百万円それぞれ減少した一方、未払消費税等が2億17百万円、引当金が1億41百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は39億69百万円となり前連結会計年度末と比較して1億88百万円の減少となりました。これは主に店舗設備の割賦購入による長期未払金が2億64百万円減少した一方、直営店出店に伴う資産除去債務が1億22百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して9億35百万円増加して476億44百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月13日の四半期決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,572,482	14,002,141
売掛金	4,611,328	4,831,535
原材料及び貯蔵品	328,225	412,385
その他	444,537	525,609
貸倒引当金	△19,378	△19,836
流動資産合計	18,937,195	19,751,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,722,533	20,462,616
土地	3,894,354	3,894,354
その他(純額)	1,855,708	1,665,762
有形固定資産合計	26,472,596	26,022,733
無形固定資産		
その他	166,557	162,030
無形固定資産合計	166,557	162,030
投資その他の資産		
敷金及び保証金	9,569,496	9,575,277
その他	4,591,834	4,745,980
貸倒引当金	△703,112	△1,120,951
投資その他の資産合計	13,458,219	13,200,306
固定資産合計	40,097,373	39,385,070
資産合計	59,034,568	59,136,904
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,388,137	2,493,146
未払金	4,062,542	3,588,304
未払法人税等	869,727	260,528
引当金	74,759	216,241
資産除去債務	14,475	20,194
未払消費税等	458,051	675,366
その他	301,584	270,006
流動負債合計	8,169,280	7,523,788
固定負債		
長期末払金	528,062	263,965
退職給付に係る負債	216,623	239,710
事業整理損失引当金	63,784	—
資産除去債務	3,226,977	3,349,364
その他	121,693	116,014
固定負債合計	4,157,141	3,969,055
負債合計	12,326,421	11,492,843

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,039,016	3,039,016
利益剰余金	45,504,717	46,437,545
自己株式	△3,578,650	△3,578,844
株主資本合計	46,696,261	47,628,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,885	15,166
その他の包括利益累計額合計	11,885	15,166
純資産合計	46,708,146	47,644,061
負債純資産合計	59,034,568	59,136,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	52,309,432	53,260,973
売上原価	11,366,640	11,550,321
売上総利益	40,942,791	41,710,652
販売費及び一般管理費	36,197,353	37,588,027
営業利益	4,745,437	4,122,624
営業外収益		
受取利息	5,461	4,891
受取配当金	1,941	2,146
受取賃貸料	139,745	145,283
その他	74,610	92,109
営業外収益合計	221,759	244,431
営業外費用		
支払賃借料	116,508	122,611
その他	27,541	26,425
営業外費用合計	144,049	149,037
経常利益	4,823,147	4,218,018
特別利益		
受取保険金	103,703	11,706
特別利益合計	103,703	11,706
特別損失		
固定資産除却損	129,845	157,769
減損損失	165,214	78,592
関係会社株式評価損	749,792	—
貸倒引当金繰入額	—	420,886
災害による損失	58,397	5,420
特別損失合計	1,103,250	662,669
税金等調整前四半期純利益	3,823,600	3,567,055
法人税、住民税及び事業税	1,552,559	1,279,267
法人税等調整額	△139,644	34,160
法人税等合計	1,412,915	1,313,428
四半期純利益	2,410,684	2,253,627
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,410,684	2,253,627

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,410,684	2,253,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,110	3,281
その他の包括利益合計	△16,110	3,281
四半期包括利益	2,394,573	2,256,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,394,573	2,256,908
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト		合 計	調 整 額 (注) 1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	28,603,091	23,495,998	52,099,089	210,342	52,309,432
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,603,091	23,495,998	52,099,089	210,342	52,309,432
セグメント利益	3,168,485	2,701,277	5,869,763	△1,124,325	4,745,437

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価62,718千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,271,948千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	29,022,264	23,939,607	52,961,872	299,101	53,260,973
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	29,022,264	23,939,607	52,961,872	299,101	53,260,973
セグメント利益	2,853,039	2,307,313	5,160,352	△1,037,728	4,122,624

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価80,544千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,256,285千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗の固定資産に係る重要な減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は58,915千円であります。また、その他に当社が運営している実験業態店舗に係る減損損失19,677千円があります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(共通支配下の取引等)

当社は、2020年1月17日開催の取締役会において、当社100%出資の連結子会社である株式会社サンマルクチャイナを吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結しております。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

結合当事企業の名称	株式会社サンマルクチャイナ
事業の内容	石焼炒飯店等の運営

(2) 企業結合日

2020年3月1日(予定)

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし株式会社サンマルクチャイナを消滅会社とする吸収合併方式であります。

※本合併は、当社においては会社法第796条第2項の規定に基づく簡易合併、株式会社サンマルクチャイナにおいては会社法第784条第1項の規定に基づく略式合併に該当するため、いずれも合併契約承認の株主総会は開催いたしません。

(4) 結合後企業の名称

株式会社サンマルクホールディングス

(5) その他取引の概要に関する事項

当社グループは、2006年に持株会社制へ移行し、多業態による外食チェーンを展開しております。持株会社である当社は外食事業に共通する管理、店舗開発、業態開発、商品開発、教育等の機能を担うことで事業管理の効率化を図り、事業の執行については、各業態ごとに事業子会社に委譲することで責任や権限を明確にし、顧客満足の上を追求すべく経営に取り組んでまいりました。

株式会社サンマルクチャイナは2008年4月に株式会社広東炒飯店として分社化後、2008年7月に現商号に変更しております。現在同社の第12期が進行しておりますが、本格展開業態となるためには社内体制の整備面で不足がみられることなどから、改善の必要性を検討の結果、同社を当社に吸収合併し、当社が保有する業態開発、商品開発機能等を活かすことで、再び中華業態の実験、可能性を追求することといたしました。

2. 実施する会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。

3. 補足情報

「参考資料」

(1) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	6,866,546	101.1
喫茶	4,657,832	102.4
合計	11,524,378	101.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	29,022,264	101.5
喫茶	23,939,607	101.9
合計	52,961,872	101.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

当第3四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	28,278,885	101.6	100,790	84.9	642,587	97.7	29,022,264	101.5
喫茶	23,564,554	102.0	35,501	92.6	339,552	98.0	23,939,607	101.9
合計	51,843,439	101.8	136,292	86.7	982,140	97.8	52,961,872	101.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

4. その他

(1) 代表取締役の異動

本日(2020年2月5日)付で別途開示いたしました「代表取締役の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) その他

該当事項はありません。